

久慈地方木造住宅技術セミナーの開催

南部アカマツ振興センターでは地域材活用に資するネットワーク構築の一環で、平成22年3月末に、地域の建築関係者、木材加工事業体、林業関係者が参加する技術セミナーを開催し、併せて、アンケート調査を行いました。

1 講演概要

セミナーへの参加は33名で、建築関係者12名、木材加工関係者12名、その他9名となりました。

セミナーの内容は、南部アカマツ振興センターの活動趣旨について説明が行われた後、岩手県立大学 内田信平准教授から、住宅の断熱化の基本的な考え方、施工上の留意点について講演が行われ、その後、岩手県林業技術センター 中嶋 康専門研究員から、アカマツ梁材の乾燥方法、柱をスギ、クリ、梁材をアカマツとした場合の接合部性能の紹介が行われました。

2 アンケート結果

アンケート回答は21名で、その内訳は、建築関係者10名、木材加工関係者5名、その他5名となりました。

講演内容に関しては、16名が理解できたと回答し、印象深いテーマは、接合(8名)、乾燥(6名)、断熱(4名)の順序となりました。

木材の乾燥・接合については、20名が重要性を認識し、セミナーをするべき対象は、工務店(28%)、設計者(23%)、施主(22%)、木材

加工(17%)、行政(11%)の順となりました。

地域の住宅に必要なこととして、「地域材による乾燥材生産」、「断熱、防湿を含めたトータル的な検討」などの意見がありました。

3 今後の取り組み

南部アカマツ振興センターでは、平成22年度も引き続きセミナー開催を計画しており、今回の結果を踏まえながら、地域材を活用するためのネットワーク構築を推進していく予定としております。

写真1 会場の様子



写真2 講演の様子

